

12月3日（土曜日）

（第691号）

令和4年（2022年）

全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <http://www.zenmoku.jp>

第五十六回全国木材産業振興大会開催（郡山市）



大会会場の様子



挨拶する菅野全木連会長

全国から四百五十名が参加

都市の木造化等木材利用と
国民理解への醸成を決議

ウッドチェンジ―暮らしに
もっと木を取り入れよう―
をメインテーマに掲げた第五
十六回全国木材産業振興大会
が、十月二十七日（木）福島
県郡山市の「ホテル華の湯」
において全国から四五〇余名
が参加し開催された。

第一部は、国歌斉唱の後、日
當和孝東北支部長の開会の言

葉、この一年間の物故者に対
する黙とうと続き、鈴木裕一
福島県木協連会長から歓迎の
挨拶が行われた。続いて菅野
康則全木連会長による主催者
挨拶、来賓として出席された
野村哲郎農林水産大臣（代理
森重樹林野庁次長）、斉藤鉄夫
国土交通大臣（代理 石井秀明
国交省住宅局木造住宅振興室
長）、内堀雅雄福島県知事（代
理 井出孝利副知事）、品川萬里
郡山市長が祝辞を述べられた。
参加された来賓の紹介、祝電
の披露、（株）ウッドコア相澤
貴宏取締役による現地報告に
続き、山崎和昭福島県木青協
会長が大会宣言（別掲）を朗
読し、満場一致で決議した後、
菅野全木連会長による決意表
明が行われた。

第二部は、福島県日本酒ア
ドバイザーの鈴木賢二氏によ
る「ふくしまの日本酒 全国
新酒鑑評会金賞受賞数9回連
続日本一の軌跡」と題した記
念講演が行われた。鈴木氏は
「日本酒の神様」と称され、酒

造りの「福島流吟醸酒製造マニユアル」を作成し、県内酒造業者に指導し福島県産酒の品質向上やブランド化を促進し、全国新酒鑑評会での本県の金賞銘柄数9回連続「日本一」に貢献しました。

第三部の表彰式は、松原正和全木協連会長の挨拶、織田央林野庁長官（代理 森重樹林野庁次長）の祝辞の後、退任団团长表彰、木材産業功労者表彰、協同組合事業功績者表彰が行われ、岡野由裕岩手県木産協副理事長が受賞者を代表して謝辞を述べた。

次いで、次期開催地の平方宏群馬県木連会長から挨拶（令和五年十月十九日、高崎市開催）が行われ、齋藤涉青森県木協理事長が閉会の言葉を述べて、盛会のうちに終了した。

なお、最後に退任団团长を始め、受賞者全員による記念撮影が行われた。

3年ぶりに開催された懇親会は、約二五〇名が参加し盛大に行われた。久しぶりの懇談に話が弾み、福島県の美酒が花を添えた。



開会宣言 日當全木連東北支部長

受賞をお喜び申し上げます

令和四年秋勲章・褒章受章者（敬称略）

旭日中綬章	松原正和 （北海道）
旭日小綬章	佐合隆治 （チップ）
旭日小綬章	渡辺昭 （東京）
黄綬褒章	伊藤正雄 （大阪）
藍綬褒章	福田隆男 （東京）

第 56 回全国木材産業振興大会

ウッドチェンジ！

—暮らしに もっと 木を取り入れよう—

宣言決議

木材利用の拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化などを通じ、豊かな暮らしや脱炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の確立が重要な課題である。

全国各地で木造施設等が数多く建設されるようになり、都市部の建築物の木造化・木質化が進み始めている。これは木材を優先して活用する「ウッドファースト社会」の実現に向けて、政府、与党、経済界に訴えてきた我々の活動の成果と認識している。

このような中、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（通称：都市（まち）の木造化推進法）の施行から一年が経ち、対象を建築物一般に拡大されたことにより、関係者の信頼に基づく安全・安心な木材の安定供給体制の構築、都市の木造化・木質化の取組が官民を挙げて推進されている。

今後、我々木材産業界としても、木材利用の促進により山元に利益を還元するとともに再造林できるための持続的な林業・木材産業の仕組み作りに率先して取り組むとともに、消費者・ユーザーの協力を得つつ、木材利用を国民運動として展開を図っていくことが重要である。

そのため、次の事項について、経済界など多様な関係者の連携の下に英知を結集して行動する。

1. 都市（まち）の木造化等木材利用を積極的に働きかけるとともに、国民理解の醸成に取り組む。
2. 森林資源の循環利用を実現するため、山元への利益の還元と再造林できる体制の構築に森林・林業、建築業界と一体となって取り組む。
3. 木材産業振興のため、予算の確保、税制特例措置の継続に取り組む。
4. 新たな木材需要を創出するため、技術開発・普及等に取り組む。
5. 合法伐採木材やJAS製品等、品質・性能の確かな木材供給や人材の育成確保に取り組む。
6. 木材産業従事者の労働安全確保に全力を挙げ、死亡災害の絶滅に取り組む。

以上、決議する。

令和4年10月27日
第56回全国木材産業振興大会



来賓祝辞 石井国土交通省木造住宅振興室長



来賓祝辞 森林野庁次長



歓迎の挨拶 鈴木福島県木協連会長



来賓紹介



来賓祝辞 品川郡山市長



来賓祝辞 井出福島県副知事



表彰式挨拶 松原全木協連会長



記念講演 鈴木福島県酒造組合特別顧問



大会宣言 山崎福島県木材青壮年協会会長



現地報告 相澤(株)ウッドコア取締役



全木協連会長賞 代表 米澤宮城県木連副理事長



全木連会長賞 代表 米山福島県木協連理事



全木連・全木協連退任団体長表彰 (左から、渡辺氏、故 滝浪(伊藤)氏、山田氏)



特別表彰 鈴木元全木連会長

第十四回
新たな「木材利用」
事例発表会

日時：令和四年二月十五日(水)
 13:30～16:00

場所：木材会館 七階ホール
 (江東区新木場二一八
 一八)

主催：(一社)全国木材組合連
 合会

木材利用推進中央協議会
 定員：一五〇名
 (一般消費者、建築・設
 計、木材関係者等)

第五十七回全国木材
産業振興大会
(群馬大会)

期日：令和五年十月十九日
 (木)

場所：Gメッセ群馬
 群馬県高崎市
 (懇親会会場：同上)

☆木材利用促進のため、
 大勢の参加で大会を
 盛り上げよう！



司会 宮本美穂



閉会の言葉 齋藤青森県木協理事長



次期開催地挨拶 平方群馬県木連会長



代表謝辞 岡野岩手県木連副理事長



全木連表彰者



全木協連表彰者

前大会以降
退任団体長感謝状
名簿（敬称略）

○全木連会長特別感謝状

愛知 鈴木和雄

○全木連会長感謝状

東京 渡辺昭

岐阜 丸山輝城

静岡 故滝浪龍

三重 野地洋正

沖縄 長堂昌太郎

全市連 西垣泰幸

日集協 故佐々木幸久

フローリング 市川英治

具袈舎・啓 金田正樹

ツバイフォー 高田伸

全木検 山田壽夫

○全木協連会長感謝状

東京 渡辺昭

岐阜 丸山輝城

静岡 故滝浪龍

三重 野地洋正

木材産業功労

表彰者名簿（敬称略）

○全木連会長表彰状

北海道 長田武興

岩手 岡野由裕

秋田 渡辺清美

渡邊武博

鍋倉利樹

山形 米山英敏

福島 高梨彰

茨城 井上洋一郎

群馬 清水一廣

埼玉 藤生利道

埼玉 星野洋一郎

千葉 石毛保明

神奈川 高橋秀行

東京 山崎健太郎

新潟 関洋

富山 田島哲朗

長野 宮沢茂

岐阜 松田靖

静岡 鈴木徹司

大野英輔

山田貴敏

松本 熊本

大分 安部省祐

宮崎 久保泰人

石毛保明

高橋秀行

山崎健太郎

清二

羽鳥雅之

江間壯一

関洋

田島哲朗

宮沢茂

松田靖

鈴木徹司

大野英輔

山田貴敏

松本 熊本

大分 安部省祐

宮崎 久保泰人

稲田恭子

北村伸

前川和哉

永谷英樹

堀井誠二

山本忠

辻永

中川勝弘

シヨーン・ローラー

西脇誠

石井健博

廣瀬裕介

富田逸司

徳島 浜口伸一

愛媛 二宮政文

福岡 村田一朗

熊本 田吹光幸

大分 安部省祐

宮崎 久保泰人

福井

長野

岐阜

静岡

愛知

岡山

徳島

広島

岡山

徳島

山行英

山下守弘

細田隆一

棚田政治

板倉泉

協同組合東濃地域
木材流通センター

竹内仁

梅村明男

木全勝蔵

川西雅也

水島大

森田修由

伊庭雅俊

徳島製材団地協
同組合

西村秀雄

伊藤九州男

梶原学



全木連は、国産材を活用し日本の森林を守る運動に取り組んでいます。

http://www.kokusanzaikatuyo.jp/

全木連・全木協連 臨時総会開催

（一社）全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会、（一社）木材産業退職金共済会の臨時総会・理事会が、11月24日（木）、木材会館（東京都江



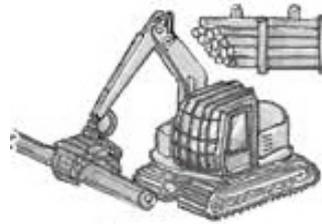
全木連では、臨時総会において役員（理事、監事）の選任、理事会において令和4年度業務執行状況報告、役員（副会長）の選任、クリーンウッド法の見直しに関する対処方針についての決議が行われ承認された。

全木協連では、臨時総会において役員（理事）の選任、理事会において京都府木材協同組合連合会の入会承認、令和4年度中間事業報告、役員（副会長）の選任が行われ、承認された。

木退共では、理事会において令和4年度業務執行状況報告が行われた。

臨時総会等終了後、情報交換会を開催し、齋藤健一林野庁木材産業課長、赤羽元木材利用課木材貿易対策室長、石井秀明国土交通省木造住宅振興室長から、令和5年度予算概算要求の概要、クリーンウッド法の見直し等についての説明が行われた。引き続き質疑応答に移り、活発な意見交換が行われた。

「融資には保証が必要」と言われたことはありませんか？ 林業・木材産業専門の 信頼できる公的保証があります。



お気軽に御相談ください！

お問合せ先 03(3434)7825
独立行政法人 農林漁業信用基金



令和4年度補正予算要望

令和4年10月21日（金）、菅野康則全木連会長並びに松原正和全木協連会長は、与党、財務省、林野庁に対し、国産材を広く建築事業者に使ってもらえるよう先進的な木材加工施設の整備や非住宅建築の

木材需要拡大等に係る国の支援について要望した。

なお、政府は11月8日の閣議で、10月28日に策定した新たな総合経済対策の裏付けとなる令和4年度補正予算（案）を決定した。

（別紙：令和4年度補正予算要望書抜粋）

「クリーンウッド法の見直し」に関する対処方針について、

「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」(クリーンウッド法)は、施行後5年を目途として、施行状況について検討を加え、必要な措置を講ずるものとされている。本会においては、10月27日、11月10日の正副会長・支部長会議での議論を踏まえ、11月10日の自民党林政対策委員会において『クリーンウッド法の見直しに係る意見・要望』を述べるとともに11月24日に開催された理事会において、「クリーンウッド法の見直しに関する対処方針について」を決議したところである。

クリーンウッド法の見直し



左から財務省河口主計官、菅野会長、松原会長、安永常務

クリーンウッド法の見直しに関する対処方針について（決議）

- 1. 見直し後も、全木連が進めてきたグリーン購入法に関する林野庁ガイドラインに基づく合法木材の供給の枠組を堅持するよう取り組む。
2. 木材関連事業者の負担の軽減のため、現在取り組んでいるグリーン購入法のガイドライン等を活かす形でクリーンウッド法の見直し、運用改善を図られるよう取り組む。
3. 合法性の確認について、政府から木材関連事業者に対して積極的かつ定期的なリスク情報の提供を行うとともに、制度の運用全般について、事業者の負担が大きくなりすぎない仕組みとなるよう取り組む。
4. クリーンウッド法の登録制度を継続し、登録を受ける者の評価が上がるような運用改善が行われるよう取り組む。
5. 見直しにより取組強化を図る場合には、木材関連事業者に対して、その対応に必要な国の支援が講じられるとともに、適切な準備期間が設けられるよう取り組む。

令和4年11月24日

一般社団法人全国木材組合連合会

令和4年度補正予算要望書（抜粋）

- ・建築分野における国産材への転換を進め、輸入木材に依存しない安定した需給バランスをとることが経済安全保障の上から必要である。このため、国産材を広く建築事業者に使ってもらえるよう、木材製品の品質や労働生産性を向上させる先進的な木材加工施設の開発・整備、木材乾燥機等の導入を推進すること。
・現在の国産材の流通において、需要に応じた供給を適確に行うためには、サプライチェーンの中で在庫機能の確保が必要である。しかし、これまで、国産材業界は厳しい経営環境の下で在庫を持たないようにスリム化の努力をしてきたため、現状の在庫保有機能が十分でないことから在庫に必要な倉庫などの施設整備を促進すること。加えて、需給バランスの一時的な崩れで生じる流通段階での価格弾性を越えた価格の変動に対する措置として、住宅着工等を促進する措置を講ずること。
・現状、円安による資材調達の高騰などから新規住宅着工が停滞しており、年間の住宅着工戸数はコロナの蔓延下であった令和2年並みに落ち込もうとしている状況にある。このため、住宅建築の着工を促進する措置を講ずることはもとより、非住宅建築の木材需要を拡大する事業の実施を促進すること。
・住宅の耐震性の強化や都市の木造化、木質化の推進のためには、構造計算に対応する強度のエビデンスとしてのJAS構造材（人工乾燥機械等級区分、2×4製材、CLT、LVL等）を安定して供給することが不可欠である。JAS構造材の生産、供給の拡大を促していくため、JAS構造材を積極的に利用拡大する事業を促進すること。
・燃料費・工場電力料等の高騰による木材加工流通のコスト増高が、木材産業の事業者の経営を圧迫している。このため、事業者に対する引き続きの燃料費・工場電力料等高騰対策を実施すること。

令和4年10月21日

一般社団法人全国木材組合連合会 会長 菅野 康則
全国木材協同組合連合会 会長 松原 正和

景況調査

令和4年10月分集計表

()内は実数

【流通部門】 モニター数135 回答93 回収率69%

【製造部門】 モニター数128 回答101 回収率79%

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Input Volume, Sales Price, and Input Price.

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Input Volume, Sales Price, and Input Price.

Table with 4 columns: Item, Strong, Stable, Weak. Rows include Sales Volume, Input Volume, Sales Price, and Input Price.

Table with 4 columns: Item, Strong, Stable, Weak. Rows include Sales Volume, Input Volume, Sales Price, and Input Price.

Table with 4 columns: 3 months later forecast, Strong, Stable, Weak. Rows include Rice, South Sea, Northern Europe, Domestic, and Building materials.

Table with 4 columns: 3 months later forecast, Strong, Stable, Weak. Rows include Rice, South Sea, Northern Europe, and Domestic materials.

Table with 4 columns: Pre-cut trend, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Row includes Post-order to completion time.

Table with 4 columns: Pre-cut trend, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Row includes Post-order to completion time.

木材利用優良施設等コンクール表彰式の開催

木材利用推進中央協議会は、木材利用の拡大や特色ある施設等を対象として、コンクールを開催し、優良な木造・木質化施設を表彰してきた。これまでの「木材優良施設部門」に加え、今年度からは、国産材の利用量の拡大に積極的に取り組んでいる建築事業者等を表彰する「国産材利用推進部門」が新設された。

本年も多数の素晴らしい作品の応募があり、その中から特別賞などに選定された作品を表彰する式典が令和四年十月三十一日（月）に木材会館（東京都江東区）において開催され、会場及びオンラインで約二五〇名に参加いただいた。「優良施設部門」においては、内閣総理大臣賞をはじめ、今年度新設された文部科学大臣賞を含む十三作品が表彰された。また、「国産材利用推進部門」においては、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞が授与され、それぞれの受賞者と授与者による記念写真の撮影が行われた。

受賞施設



表彰式（内閣総理大臣賞：授与者は角田農林水産大臣政務官）

〔優良施設部門〕

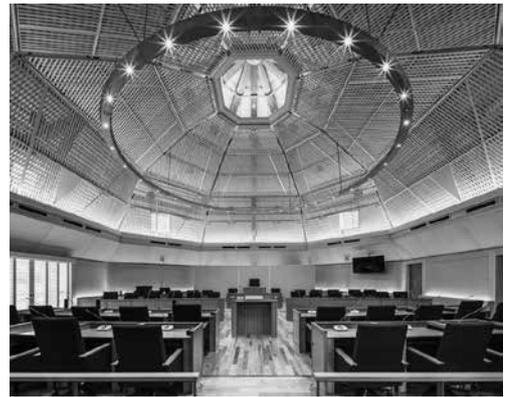
〔内閣総理大臣賞（1点）〕

○流山市立おおぐろの森中学校（千葉県）



〔農林水産大臣賞（1点）〕

○京丹波町役場 新庁舎（京都府）



〔文部科学大臣賞（1点）〕

○大豊町立大豊学園（高知県）



〔国土交通大臣賞（1点）〕

○DOLUS 大林組横浜研修所（神奈川県）



〔環境大臣賞（1点）〕

○HULIC & New GINZA 8



〔林野庁長官賞（3点）〕

○ザロイヤルパークキャンパス札幌大通り公園（北海道）



○OYAKI FARM BY IROHADO（長野県）



○清水建設北陸支店新社屋（石川県）



〔材利用推進中央協議会会長賞（3点）〕

○昭和学院小学校 ウエスト館（千葉県）

○徳島県立木のおもちや美術館（徳島県）

○みどり市立笠懸西小学校（群馬県）

○審査委員会特別賞

○みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」（福島県）

○日刊木材新聞社新社屋（東京都）

〔国産材利用推進部門〕

○農林水産大臣賞（1点）

○テクノウッドワークス株式会社（栃木県）

〔林野庁長官賞（1点）〕

○大東建託株式会社（東京都）

間伐紙（木になる紙）を使用しています。